



<ここから>2つ以上のがんの診断を受けている方は、お仕事にもっとも影響した病名についてお答えください。

問5 今まで診断を受けた中で、お仕事にもっとも影響した病名に○を付けてください（○は1つ）。また、その病名が診断された年と月をお答えください。

病名	診断年・月	病名	診断年・月
1 脳腫瘍	西暦・平成（ ）年（ ）月	15 膀胱がん	西暦・平成（ ）年（ ）月
2 口腔・咽頭がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	16 腎臓がん	西暦・平成（ ）年（ ）月
3 喉頭がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	17 精巣がん	西暦・平成（ ）年（ ）月
4 甲状腺がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	18 卵巣がん	西暦・平成（ ）年（ ）月
5 肺がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	19 子宮がん	西暦・平成（ ）年（ ）月
6 乳がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	20 急性白血病	西暦・平成（ ）年（ ）月
7 食道がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	21 慢性白血病	西暦・平成（ ）年（ ）月
8 胃がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	22 悪性リンパ腫	西暦・平成（ ）年（ ）月
9 大腸がん (直腸含む)	西暦・平成（ ）年（ ）月	23 多発性骨髄腫	西暦・平成（ ）年（ ）月
10 肝がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	24 骨肉腫	西暦・平成（ ）年（ ）月
11 胆がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	25 軟部肉腫	西暦・平成（ ）年（ ）月
12 膵がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	26 胚細胞腫瘍	西暦・平成（ ）年（ ）月
13 皮膚がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	27 原発不明	西暦・平成（ ）年（ ）月
14 前立腺がん	西暦・平成（ ）年（ ）月	28 その他 ( )	西暦・平成（ ）年（ ）月

問6 あなたが受けた治療をお答えください（○はいくつでも）。

1 手術	3 化学療法(抗がん剤治療)	5 その他
2 放射線治療	4 ホルモン療法	( )

問7 病期(ステージ)をお答えください（○は1つ）。

1 I期	3 III期	5 わからない
2 II期	4 IV期	

問8 再発のご経験はありますか？

1 ある (➡ その時期を教えてください。西暦・平成 年 月)
2 ない

問9 診断当時の、あなたの仕事の状況をお答えください（○は1つ）。

1 正社員	4 パート・アルバイト	7 その他
2 派遣社員、契約社員	5 学生	( )
3 自営業/自由業	6 無職(専業主婦/主夫を含む)	

問 10 診断当時あなたが働いていた会社のおおよその従業員数をお答えください（○は1つ）。

- 1 50人未満      2 50人～499人      3 500人～999人      4 1000人以上

問 11 診断当時、あなたには扶養家族がいましたか。

- 1 いた      2 いなかった

問 12 診断を受けて、あなたはお仕事のことが心配になりましたか。

- 1 とても心配になった      2 やや心配になった      3 心配ではなかった      4 全く心配ではなかった

問 13 当院での診断～現在に至るまでの間、あなたがお仕事に関する悩みを抱えているかどうかについて聞かれたことがありますか。

- 1 聞かれたことがある      2 聞かれたことがない      問 14 (4 ページ) へおすすください

↓  
問 13で「1」と  
回答された方へ

問 13-① あなたのお仕事に関する悩みについて尋ねた人を、次から選んでください（○はいくつでも）。

- 1 医師      4 リハビリの専門スタッフ      7 心理ケアの専門スタッフ  
2 看護師      5 栄養士      8 その他  
3 薬剤師      6 ソーシャルワーカー      (      )

↓

問 13-② あなたは、その悩みや心配ごとを病院スタッフに相談しましたか。

- 1 相談した      2 相談しなかった

↓  
問 13-②で「1」と  
回答された方へ

問 13-③ あなたの悩みや心配ごとの軽減に役立ったと思いますか。該当箇所におをつけてください。

相談した人	1 そう思う	2 少し そう思う	3 あまり そう思わない	4 全く そう思わない
1 医師	1	2	3	4
2 看護師	1	2	3	4
3 薬剤師	1	2	3	4
4 リハビリの専門スタッフ	1	2	3	4
5 栄養士	1	2	3	4
6 ソーシャルワーカー	1	2	3	4
7 心理ケアの専門スタッフ	1	2	3	4
8 その他 (      )	1	2	3	4

次のページにお進みください



問 19 お仕事をおやめになったのは、どのタイミングでしたか (○は1つ)。

1 がんの疑いが出たとき～診断までの間	6 いったん復職したあと
2 がんの診断が確定したとき	7 再発したあと
3 診断後、最初の治療を待っている間	8 その他
4 最初の治療中	〔 〕
5 最初の治療を終えてから当初予定していた復職までの間 (休職中を含む)	

問 20 どのような理由で退職を決めましたか (○はいくつでも)。

1 職場に迷惑をかけたくなかったから
2 がんになったら気力・体力的に働けないだろうと予想したから
3 治療と仕事を両立する自信がなかったから
4 職場から支援が得られないだろうと思ったから
5 実際働いてみて、体力的に無理だったから
6 実際働いてみて、精神的に無理だったから
7 実際働いてみて、通院の時間が確保できなかったから
8 実際働いてみて、職場から支援が得られなかったから
9 職場から退職をすすめられたから
10 病気やけがで会社を休んだときに受けられる手当等が切れるタイミングだったから
11 家族に退職をすすめられたから
12 主治医に退職をすすめられたから
13 再発がわかったから
14 仕事より優先したいことがあったから
15 人生観が変わったから
16 病気以外の理由 (例：定年など)
17 その他 ( )

問 21 ふりかえてみて、退職に至るプロセスについて、現在あなたはどのくらい納得していますか (○は1つ)。

1 とても納得	2 やや納得	3 あまり納得していない	4 全く納得していない
---------	--------	--------------	-------------

次のページにお進みください

ここからは全員の方にかがいます

問 22 次の支援制度について、お聞きになったことがあるか教えてください。また、各制度について、ご利用されたことがあるかも教えてください。該当箇所に○をつけてください。

	聞いたことがある	利用したことがある
1 高額療養費制度		
2 傷病手当金制度		
3 医療費控除		

問 23 問 22 で回答した支援制度は、どなたからお聞きになりましたか（○はいくつでも）。

1 医師	6 ソーシャルワーカー	11 自分で調べた
2 看護師	7 心理ケアの専門スタッフ	12 その他
3 薬剤師	8 家族	〔 〕
4 リハビリの専門スタッフ	9 友人	
5 栄養士	10 他の患者／患者会	

当院では、医療費、傷病手当金などの社会保険、職場復帰後の悩み、いったん職場をおやめになったあとの職探しなどについて、相談員、看護師、社会保険労務士、ハローワークスタッフなどが無料相談に応じています。

問 24 あなたがご存じだった、当院のサービスを次の中からをお選びください。また、各サービスについて、ご利用されたことがあるかも教えてください。該当箇所に○をつけてください。

	聞いたことがある	利用したことがある
1 がん相談支援センターの相談員による、医療費や生活費の個別相談		
2 がん相談支援センターにおける、就労関係資料の配布		
3 社会保険労務士による、社会保険や働き方などの個別相談		
4 ハローワーク職員による、職探しの個別相談		
5 看護師による、「よりみち相談」		
6 がん相談支援センター相談員による、「お仕事サポート教室」		



問 27 がんの治療と仕事の調和について、現在お困りのことがありましたら、ご自由にお書きください。

問 28 あなたにとっての「病気と仕事の両立とは」？ ぱっと思い浮かんだことをご自由にお書きください。



以上で質問はすべて終了です。

ご記入が終わられたアンケートだけを、  
1階ロビー待合室の回収ポストにご投函ください。

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



表2 臨床属性

変数名	全体	
	(N=950)	
	n (%)	
<b>診断名</b>		
脳腫瘍	11	(1.2)
口腔・咽頭がん	34	(3.6)
喉頭がん	11	(1.2)
甲状腺がん	5	(0.5)
肺がん	86	(9.1)
乳がん	248	(26.1)
食道がん	32	(3.4)
胃がん	72	(7.6)
大腸がん	80	(8.4)
肝がん	9	(0.9)
胆がん	5	(0.5)
膵がん	18	(1.9)
皮膚がん	10	(1.1)
前立腺がん	74	(7.8)
膀胱がん	11	(1.2)
腎臓がん	7	(0.7)
精巣がん	5	(0.5)
卵巣がん	22	(2.3)
子宮がん	95	(10.0)
急性白血病	3	(0.3)
慢性白血病	5	(0.5)
悪性リンパ腫	41	(4.3)
多発性骨髄腫	4	(0.4)
骨肉腫	6	(0.6)
軟部肉腫	17	(1.8)
胚細胞腫瘍	1	(0.1)
原発不明	3	(0.3)
その他	35	(3.7)

変数名	全体	
	(N=950)	
	n (%)	
<b>治療法*</b>		
手術	697	(42.6)
放射線治療	299	(18.3)
化学療法	414	(25.3)
ホルモン療法	166	(10.2)
その他	59	(3.6)
<b>病期</b>		
0	7	(0.7)
I	234	(24.6)
II	162	(17.1)
III	185	(19.5)
IV	129	(13.6)
その他	194	(20.4)
回答なし	39	(4.1)
<b>再発の有無</b>		
あり	182	(19.2)
なし	723	(76.1)
回答なし	45	(4.7)

\*=複数回答可(回答総数=1635).

表3 診断後の仕事の心配度(問12)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
とても心配になった	411 (43.3)
やや心配になった	397 (41.8)
心配ではなかった	109 (11.5)
全く心配ではなかった	30 (3.2)
回答なし	3 (0.2)

表4 医療スタッフによる仕事に関する悩みのアセスメント(問13)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
聞かれたことがある	223 (23.5)
聞かれたことがない	706 (74.3)
回答なし	21 (2.2)

表5 仕事に関する悩みのアセスメント実施者(問13-①)

回答	全体
	(N=223)
	n (%)
医師	140 (44.2)
看護師	113 (35.6)
薬剤師	8 (2.5)
リハビリの専門スタッフ	10 (3.2)
栄養士	4 (1.3)
SW	9 (2.8)
心理ケア専門スタッフ	23 (7.3)
その他	10 (3.1)

注)SW=ソーシャルワーカー。複数回答可(回答総数=317)。

表6 アセスメント実施医療者への相談行動(問13-②)

回答	全体
	(N=223)
	n (%)
相談した	107 (48.0)
相談しなかった	111 (49.8)
回答なし	5 (2.2)

表7 相談行動による悩みや心配ごとの軽減への認識(問13-②)

回答	全体
	(N=69)
	n (%)
<b>医師</b>	
そう思う	48 (69.6)
少しそう思う	17 (24.6)
あまりそう思わない	4 (5.8)
全くそう思わない	0 (0.0)

回答	全体
	(N=53)
	n (%)
<b>看護師</b>	
そう思う	36 (67.9)
少しそう思う	17 (32.1)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	0 (0.0)

回答	全体
	(N=3)
	n (%)
<b>薬剤師</b>	
そう思う	2 (66.7)
少しそう思う	0 (0.0)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	1 (33.3)

回答	全体
	(N=4)
	n (%)
<b>リハビリ専門スタッフ</b>	
そう思う	2 (50.0)
少しそう思う	2 (50.0)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	0 (0.0)

回答	全体
	(N=2)
	n (%)
<b>栄養士</b>	
そう思う	2 (100.0)
少しそう思う	0 (0.0)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	0 (0.0)

回答	全体
	(N=8)
	n (%)
<b>SW</b>	
そう思う	5 (62.5)
少しそう思う	3 (37.5)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	0 (0.0)

回答	全体
	(N=13)
	n (%)
<b>心理ケアスタッフ</b>	
そう思う	9 (69.2)
少しそう思う	3 (23.1)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	1 (7.7)

回答	全体
	(N=1)
	n (%)
<b>その他</b>	
そう思う	1 (100.0)
少しそう思う	0 (0.0)
あまりそう思わない	0 (0.0)
全くそう思わない	0 (0.0)

注)医療スタッフはアセスメント実施者・患者の相談相手を示す。SW=ソーシャルワーカー。

表8 職場関係者への病気開示(問14)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
伝えた	803 (84.5)
伝えてない	99 (10.4)
回答なし	48 (5.1)

表9 病気開示による仕事の問題解決への認識(問14-①)

回答	全体
	(N=531)
	n (%)
<b>上司</b>	
そう思う	339 (63.8)
少しそう思う	100 (18.8)
あまりそう思わない	56 (10.5)
全くそう思わない	36 (6.9)

回答	全体
	(N=397)
	n (%)
<b>人事(総務)担当者</b>	
そう思う	226 (56.9)
少しそう思う	85 (21.4)
あまりそう思わない	55 (13.9)
全くそう思わない	31 (7.8)

回答	全体
	(N=541)
	n (%)
<b>同僚</b>	
そう思う	329 (60.8)
少しそう思う	115 (21.3)
あまりそう思わない	63 (11.6)
全くそう思わない	34 (6.3)

注)職場関係者は、患者の病気開示相手を示す。

表10 診断当時の職場における産業保健スタッフの有無(問15)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
いた	259 (27.3)
いなかった	552 (58.1)
わからない	58 (6.1)
回答なし	81 (8.5)

表11 がん診断後の働き方に関する産業保健スタッフへの相談行動(問15-①)

回答	全体
	(N=259)
	n (%)
相談したことがある	84 (32.4)
相談したことがない	175 (67.6)

表12 産保スタッフへの相談行動による役立ち度(問15-②)

回答	全体
	(N=84)
	n (%)
そう思う	51 (60.7)
少しそう思う	22 (26.2)
あまりそう思わない	7 (8.3)
全くそう思わない	4 (4.8)

表13 診断時の年収から現在の年収の変化(問16)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
年収が下がった	358 (37.7)
年収は変わらない	460 (48.4)
年収が上がった	54 (5.7)
回答なし	78 (8.2)

表14 診断時からの仕事の変化(問17)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
同じ会社で勤務	693 (72.9)
退職して再就職	69 (7.3)
退職して再就職していない	116 (12.2)
その他	17 (1.8)
回答なし	55 (5.8)

表15 公的支援制度の知識と利用割合(問22)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>高額医療費制度</b>	
聞いたことがある	
はい	840 (88.4)
いいえ	110 (11.6)
利用したことがある	
はい	621 (65.4)
いいえ	329 (34.6)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>傷病手当金制度</b>	
聞いたことがある	
はい	423 (44.5)
いいえ	527 (55.5)
利用したことがある	
はい	171 (18.0)
いいえ	779 (82.0)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>医療費控除</b>	
聞いたことがある	
はい	656 (69.1)
いいえ	294 (30.9)
利用したことがある	
はい	356 (37.5)
いいえ	594 (62.5)

表16 公的支援制度に関する情報源(問23)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
医師	52 (4.5)
看護師	112 (9.7)
薬剤師	3 (0.3)
リハビリの専門スタッフ	0 (0.0)
栄養士	0 (0.0)
SW	40 (3.5)
心理ケア専門スタッフ	9 (0.8)
家族	190 (16.5)
友人	127 (11.0)
他の患者/患者会	21 (1.8)
自分で調べた	360 (31.2)
その他	240 (20.8)

注)SW=ソーシャルワーカー。複数回答可(回答総数=1154)。

表17 施設の就労サービスに関する認知度と利用割合(問24)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>がん相談支援センターの個別相談</b>	
聞いたことがある	
はい	375 (39.5)
いいえ	575 (60.5)
利用したことがある	
はい	49 (5.2)
いいえ	901 (94.8)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>がん相談支援センターの就労関係の資料配布</b>	
聞いたことがある	
はい	135 (14.2)
いいえ	815 (85.8)
利用したことがある	
はい	10 (1.1)
いいえ	940 (98.9)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>社会保険労務士による個別相談</b>	
聞いたことがある	
はい	118 (12.4)
いいえ	832 (87.6)
利用したことがある	
はい	11 (1.2)
いいえ	939 (98.8)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>ハローワーク職員による個別相談</b>	
聞いたことがある	
はい	137 (14.4)
いいえ	813 (85.6)
利用したことがある	
はい	13 (1.4)
いいえ	937 (98.6)

表18 仕事に関する困りごとに対する個別相談へのニーズ(問25)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
すぐに個別相談を利用したい	20 (2.1)
必要に応じて個別相談を利用してみたい	486 (51.2)
個別相談には興味がない	267 (28.1)
回答なし	177 (18.6)

表19 時期別の情報・支援ニーズ(問26)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>診断時</b>	
入院日や入院期間の見込み	529 (16.3)
自分の仕事に差し支えそうな副作用の情報	346 (10.6)
副作用症状への対応方法のヒント	232 (7.1)
職場に病気を説明するときのヒント	277 (8.5)
職場に配慮を頼む時のコツ	228 (7.0)
治療にかかる医療費の見込み	436 (13.4)
医療費・生活費の支援制度の情報	316 (9.7)
治療スケジュール	417 (12.8)
家事や子育て支援の情報	174 (5.3)
専門家の個別相談	159 (4.9)
似た治療を受けた人の職場復帰の体験談	134 (4.1)
その他	6 (0.2)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>診断から最初の治療までの間</b>	
入院日や入院期間の見込み	252 (9.1)
自分の仕事に差し支えそうな副作用の情報	370 (13.3)
副作用症状への対応方法のヒント	378 (13.6)
職場に病気を説明するときのヒント	143 (5.2)
職場に配慮を頼む時のコツ	169 (6.1)
治療にかかる医療費の見込み	317 (11.4)
医療費・生活費の支援制度の情報	277 (10.0)
治療スケジュール	346 (12.5)
家事や子育て支援の情報	172 (6.2)
専門家の個別相談	196 (7.1)
似た治療を受けた人の職場復帰の体験談	149 (5.4)
その他	4 (0.1)

注)複数回答可(診断時:回答総数=3254;診断から最初の治療までの間:回答総数=2773).



表19 時期別の情報・支援ニーズ(問26)続き

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>最初の治療から復職までの間</b>	
入院日や入院期間の見込み	68 (3.9)
自分の仕事に差し支えそうな副作用の情報	192 (10.9)
副作用症状への対応方法のヒント	227 (12.9)
職場に病気を説明するときのヒント	135 (7.7)
職場に配慮を頼む時のコツ	156 (8.9)
治療にかかる医療費の見込み	98 (5.6)
医療費・生活費の支援制度の情報	127 (7.2)
治療スケジュール	131 (7.4)
家事や子育て支援の情報	110 (6.2)
専門家の個別相談	241 (13.7)
似た治療を受けた人の職場復帰の体験談	271 (15.4)
その他	5 (0.3)

回答	全体
	(N=950)
	n (%)
<b>復職後</b>	
入院日や入院期間の見込み	7 (1.1)
自分の仕事に差し支えそうな副作用の情報	59 (9.4)
副作用症状への対応方法のヒント	77 (12.3)
職場に病気を説明するときのヒント	42 (6.7)
職場に配慮を頼む時のコツ	51 (8.1)
治療にかかる医療費の見込み	32 (5.1)
医療費・生活費の支援制度の情報	48 (7.7)
治療スケジュール	51 (8.1)
家事や子育て支援の情報	54 (8.6)
専門家の個別相談	96 (15.3)
似た治療を受けた人の職場復帰の体験談	105 (16.7)
その他	5 (0.8)

注)複数回答可(最初の治療から復職までの間:回答総数=1761;復職後:回答総数=627).

表20 診断時に仕事を辞めた平均年齢と標準偏差(問18の年-問1の年)

回答	全体
	(N=189)
退職時の年齢 (Mean, SD)	52.9 (10.84)

表21 診断時の仕事を辞めたタイミング(問19)

回答	全体
	(N=199)
	n (%)
がんの診断が確定したとき	63 (31.7)
診断後、最初の治療をまっている間	17 (8.5)
最初の治療中	23 (11.6)
最初の治療中治療を終えてから 当初予定していた復職までの間	22 (11.1)
いったん復職した後	37 (18.6)
再発したあと	14 (7.0)
その他	23 (11.5)

表22 診断時の仕事を辞めた理由(問20)

回答	全体
	(N=199)
	n (%)
職場に迷惑をかける	71 (17.4)
気力・体力的困難を予測	65 (15.9)
両立の自信なし	65 (15.9)
職場の支援困難を予想	20 (4.9)
身体的困難を実感	32 (7.8)
精神的困難を実感	11 (2.7)
通院時間の確保困難を実感	5 (1.2)
職場の支援困難を実感	6 (1.5)
職場のすすめ	18 (4.4)
疾病手当金の期限	9 (2.2)
家族のすすめ	27 (6.6)
主治医のすすめ	3 (0.7)
再発	10 (2.5)
優先順位の変化	18 (4.4)
人生観の変化	16 (3.9)
その他	32 (7.8)

注)複数回答可(回答総数=408).

表23 退職に至るプロセスに対する現在の納得度(問21)

回答	全体
	(N=199)
	n (%)
とても納得	75 (37.7)
やや納得	84 (42.2)
あまり納得していない	24 (12.1)
全く納得していない	16 (8.0)

カテゴリ	サブカテゴリ	コード(要約)
経済的な困難	【減収・退職・休職】	収入は増えない(減る)のに支出が増える。 現在休職中だが、貯金を切り崩しながらの生活であり、お金のことを考えると、いつ復帰できるか不安。 休みやすい職場だが、収入は増えない。どちらがよいのか。 時給制のため、入院中は収入が減る。 副作用による勤務時間の減少で収入減が心配。 治療を優先させるため退職したが、金銭面の不安がある。
	【治療費の支払いが困難】	治療費が心配。 休職期間が終わると無職になり、治療が続けられるか不安。
	【将来への経済的負担への懸念】	会社に迷惑をかけるので辞めた方がいいとも思うが、生活のことを考えると迷う。
	【生活の困窮★】	手術の影響で仕事がしたくてもできない。生活費が大変。 仕事がしたくても年齢的に無理。節約しても年金生活で思うようにはいかない。
	【就労継続への回執★】	治療しながら仕事をするのは大変だが、辞めて再就職するよりは、無理してでも続けてしまう。
	【正社員でなくなることへの不安★】	治療後、体力が戻らず、通常勤務に戻れなさそうだが、一度辞めると二度と正社員になれないだろうと不安。 健康保険の面が心配。
会社側の制度・対応の問題	【職場の支援体制の不備】	通院で休まなければならないことや、以前のように働けないことを会社は理解してくれない。妊婦には優しいが病人には厳しい。 短時間休職も含めて柔軟な対応をしてほしい。 時短制度や在宅勤務制度など、職場の支援体制が未整備。
	【理解のない上司・同僚】	診察・検診で仕事を休むと嫌な顔をする同僚がいる。 周囲の理解不足を感じる。 自分の仕事量が減ることに対して周囲の理解が得られるか不安。 上司の無理解。 職場にがん体験者がいないので言葉などで傷つくことがある。 理解のない上司への対応について、相談できる窓口がない。
	【正確な病状把握に基づかない配置転換・退職勧告・解雇】	病状を説明したら解雇された。 職場復帰後3か月後に退職勧奨を受けた。
	【中小企業の問題】	中小の場合、長期の治療が必要な社員を雇い続ける余裕はない。
	【非正規雇用者への支援体制の不備★】	パートなので正社員には摘要される休職制度が利用できない。 派遣社員のため、何のフォローもない。休職はそのまま収入源。 囁託のため、月一の治療の際、毎回年休を取得しなければならない。
	【職場関係者とのコミュニケーションの問題】	
職場関係者とのコミュニケーションの問題	【関係者への病気の伝え方に迷う】	見通しが良くないことを上司にどう話すか迷っている。アドバイス本がほしい。 相手との関係によってどこまで伝えるか迷う。配慮は必要だが詮索や過度の心配を与えたくない。 病名が深刻にとられるとき、仕事でどの範囲の人に伝えるべきか迷う。 仕事の関わり方や人間関係によってどこまで伝えるかの線引きに迷う。配慮は必要だが詮索や過度の心配はほしくない。 職場に知らせるときは本当に嫌だった。 いつまで働けるのか、どこまでできるのか自分でも分からないので、職場に伝えるのが難しい。
	【一部にしか病名を伝えていないことの弊害】	上司以外には伝えていないため、仕事を休むといろいろ言われる。 一部の人にしか病名を言っていないので、仕事量が減ったことをどう見られているか気になる。 一部にしか病名を伝えていないので、周囲の理解が得にくい。病名が広がることは避けたいので仕方がない。
	【病名を伝えていないことの弊害】	病気のことを話していないため、辛いときも断れない。 病気のことを話していないため、忙しい時期に仕事を休むのはストレスだった。
	【治療計画や復帰後の体調の説明が難しい】	抗がん剤の個々の副作用は大きいものではないので、辛いときも周囲に言いづらい。 どのタイミングで復帰するのか、復帰後の治療予定をどう話せばよいか。
	【病名について詮索される】	会社の人にいろいろ聞かれる。
	【見た目とのギャップによる問題★】	職場で身体の状態を説明しても、見た目が元気だと理解してもらえない。 見た目元気ですぞと言われる。 普通に勤務できているため、完治したと解釈されることがあり、今後何か起きたときの説明を考えると気が重い。 見た目は元気そうなので、まったく心配されないのが悲しいが、心配ばかりされても困る。
【周囲が病気を忘れる★】	病気のことを気にさせすぎると問題だが、周囲がすっかり忘れていくかのようで、逆につらい。	
仕事のしかたの問題★	【元の職場への復帰可能性の問題★】	会社に迷惑をかけたくないかたちで復帰できるか心配。 復帰したいが、病気の影響で実際は難しいだろう。 体力低下で仕事にうまく復帰できるか不安。 休職前と同じ部署に戻れるか不安。
	【休職・退職の判断に悩む★】	体力は低下しているが、入院するほどではない。病気休暇を取得すべきか迷う。 休職して治療に専念するべきか悩む。 このまま仕事を続けていいのか悩む。 病状悪化時にどのタイミングで退職するか思案中。 いつまで仕事を続けられるのか不安。
	【仕事量の調整が難しい★】	体調が良いため仕事が増える一方。どのように自分をセーブするか迷う。貧乏な悩みだが、これもまた悩み 自分の体調がどこまで無理がきくかわからない。 仕事をどれくらいやってよいのか分からない。前と同じペースで悪影響が出るのか。 今後の治療が仕事にどのような影響を与えるのか。 もう少し仕事を増やしたいが、体力面で不安がある。
	【休めない・休みづらい★】	休むことを伝えづらい。 職場が忙しく、疲れていても休めない。 長期間の休みの後は休みにくい。
	【体調の波が仕事に影響する★】	体調が不安定で就業時間が少なくなり、仕事が終わらない。 体調の良さで仕事が左右されるときあり。 体調が不安定なので、仕事のスケジュールがたたない。

カテゴリ	サブカテゴリ	コード(要約)
再就職時の問題	【通院との両立に不安が残る】 【希望の仕事がなかなか得られない】	通院との両立が不安。 疲れやすいため、内職などが希望だが、そういう仕事は少ない。パソコンもできないので、何もできずにいる。 体調が読めず、社会復帰が難しい。 都心ではなく郊外の職場では条件にあうものが少ない。
	【病名公表を迷う】	職場への説明が不安。 がんだと言ったことも雇って欲しくない。
自営業の問題	【顧客減少・継続困難】	自営業の場合、休職＝収入減となる。 自営業のため、仕事は調整できるが、休むと収入が減る 自営業であるため、がん告知＝死＝後継者問題になる。 自由業のため、融通はきくが、体調・精神面で仕事に向かない。家計の担い手にとって両立はとても大変。
	【顧客や社員に迷惑をかける】 【手当て保証がない】	顧客を増やしても再発したら迷惑をかけるかと思うと積極的になれない。 会社ではないので保障がないのが不安。
本人の心理面への影響	【職場で肩身が狭い(罪悪感がある)】	会社の配慮に助けられているが、迷惑をかけているという思いがあり、自分からはいろいろ言えない。 周囲には十分に配慮してもらっているのに、体調変化で元の仕事量をこなせないことこらだちを感じる。 再発時に仕事を引き継ぐ可能性を考えると、責任ある仕事ができず、単調な業務に甘んじている。
	【将来に対する不安、先が見えないことに対する不安★】	不安で仕事に集中できない。 先が見えない。 常に最悪を考えているのでマイナス思考になりがち。
	【周囲の評価が気になる★】	疲れやすくなり仕事の能率が落ちた。同僚の評価が気になる。
	【正社員でなくなることへの不安★】	治療後、体力が戻らず、通常勤務に戻れなさそうだが、一度辞めると二度と正社員になれないだろうと不安。 健康保険の面が心配。
	【再発・転移の不安★】	再発の心配。 体力的に元のように戻れない。再発・転移が不安。 治療後の症状、転移が心配。 いつ再発するのか？ 今はないが、再発したときが不安。 再発の不安。 転移しやすく進行が遅いということで非常に不安。
	【職場復帰後の心のケアを希望★】 【患者会を希望★】	仕事が忙しくなったときの体調・体力が不安なので、復帰後の心のケアがあるとよい。 副作用のため働けず、イライラがつる。退院後も近所に他の患者と話す場所があればいい。
通勤・仕事中の副作用や後遺症の問題	【痛み】	副作用による手足の痛みがある 術後時間がたつても傷跡が痛む。仕事で無理をすると特につらい。
	【頻尿・頻便】	薬の副作用で仕事でトイレに行くことが多く、困っている。 頻回な便意があり、仕事への影響がある。
	【全身倦怠感・体調不良・体力低下】	術後、体力が戻らず、食が細くなった。 疲れやすく、職場で眠くなる。 残業すると疲れる。 体がだるく、予定していた仕事量をこなせない。
	【手足の可動域制限★】	腕が上がりにくい。
	【副作用の出力に波がある(特に抗がん剤)★】	副作用が強い期間がバラバラで、仕事に復帰できるのか不安。 副作用がその時々で違うため、仕事への影響が異なる
	【吐き気・頭痛★】	副作用(吐き気、頭痛他)が続き、予定が立てられない。長期の仕事が出来ない。 抗がん剤治療を受けると数日気分が悪く、日常生活に支障をきたしてストレスが大きい。
	【免疫力の低下★】	免疫低下のため休職中。
	【しびれ★】	足のしびれがひどく、休みながら仕事をしている。
	【菌・口腔の問題★】	放射線治療による菌の劣化。 唾液の分泌障害で、仕事相手に不快な思いをさせることはないか？
	【ストーマ★】	ストーマ使用のため、出張時に不便。長期出張はできなくなった。
	【外見的变化★】	営業職のため、髪の毛の対策がほしい。 副作用のために以前の仕事に復帰できない。痛みのケアとともに見た目の変化に対応するサポートがほしい。
	【リンパ浮腫★】	リンパ浮腫と診断されたら仕事をどうすればいいのか。 リンパ浮腫への懸念で手術の影響で悪いものが持てず、仕事に支障をきたしている。
	【聴覚障害★】	聴覚が急激に下り、お客様との会話が成立しない。(サービス業)
	【指先のあかざれ★】	地味な副作用(指先のあかざれ)で仕事や暮らしに影響はあるが、仕事や家事を休む理由にできない。
	【その他★】	満員電車(快速)は怖くて乗れないため、朝早く出て空いている普通電車を使う。
家族との関係	【入院中の家族の世話の心配】	入院している間の認知症の母親の世話が心配。
	【仕事で無理をして、家事ができない★】	仕事に行くで無理をしまい、家のことがおろそかになってストレスを感じる。
	【家族に辛いと言えず、無理をしてしまう★】	家族にも毎日辛いとは言えないので無理をしてしまう。